

令和6年 9月吉日

保護者各位

市川市立第五中学校
校長 岡 良和

学校評価アンケート 結果報告

6月実施「学校評価アンケート」の結果を報告いたします。本アンケートは、市川市公立学校で一斉実施するもので、昨年度までとは、内容項目が刷新され、保護者に加え、生徒アンケートも実施しております。

本校としても今回の結果を踏まえ、家庭・学校・地域の連携のもと、教育活動および教育環境の充実と質向上に役立ててまいりますので、ご理解ご協力くださるようお願いいたします。

なお、第五中学校のアンケート回収率は、以下の通りです。ご協力に感謝申し上げます。

【保護者】 64.3%(回答数 346/世帯数540) 【生徒】 66.8%(回答数 386/生徒数578)

1 「結果の見方」について

- 表内の「評価項目」は、1「確かな学力」、2「豊かな心」、3「健やかな体」、4「家庭・学校・地域の連携」以上4つの項目ごとにまとめています。
- 「評価項目」は、市川市公立学校の共通項目に「学校で独自に設定した項目(項目1の5 項目2の4)」を加えています。
- 「評価項目」の質問文は、生徒向けと保護者向けの表現に分け、同様の内容を質問しています。
- 「評価結果(人)」は、評価項目の選択肢4, 3, 2, 1を選んだ合計人数です。
(選択肢: 4「そう思う」 3「どちらかというと思う」 2「どちらかというと思わない」 1「そう思わない」)
- 「評価の平均値」は、評価結果をポイント換算し平均値を示しました。平均値が、2.5より増えると4「そう思う」に近づき、2.5より減ると、1「そう思わない」に近づくことを示します。
- 4「そう思う」と3「どちらかというと思う」を選択した人数を評価項目について「肯定的回答の割合」と示しています。

2 「学校運営について A:好ましく感じていて継続してほしい点 B:物足りなく感じていて検討してほしい点」について(保護者アンケート)

- 4つの評価項目をさらに「内容」に分けています。具体的なお意見を頂戴し、ありがとうございます。
- お寄せいただいた個々のお意見は、原則そのまま掲載し、内容が重複するご意見は、「同()件」と紹介しています。
- 個人・団体が特定できるような記載等、内容により、一部を要約・割愛して掲載しておりますが、お寄せいただいたご意見の趣旨を精査したうえで、職員会議等で共有するとともに、対応について検討してまいります。

3 「学校運営協議会の意見」について

- 直近開催の協議会における「評価結果」についての協議内容を記載しています。

4 「現状の分析および学校運営の方向性」について

- 「学校運営協議会の意見」を参考に、教職員で分析・協議したものを示しています。
- 個別案件については、学校全体で情報共有を図ります。そのうえで、「学校の役割」及び「学校ができること、できないこと」を総合的に分析・検討し、教育活動の中で改善してまいります。

1 「確かな学力」について(生徒)

評価項目		評価結果(人)					評価の 平均値	肯定的回答		
		4	3	2	1	計		6月		
確かな 学力	1	目標を持って学習したり、生活したりしていますか。	98	160	92	22	372	2.90	69%	
	2	調べたいことやわからないことを自分から調べるなど、色々なことに興味を持って学習に取り組んでいますか。	103	163	75	31	372	2.91	72%	
	3	日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか。	49	61	115	145	370	2.04	30%	
	4	日々の学習で、タブレットを活用していますか(4:ほぼ毎日 3:週2~3日 2:週1日 1:していない)	59	137	120	56	372	2.53	53%	
	5	学校では、個人に応じたていねいな学習指導を受けていますか。	126	178	59	23	386	3.05	79%	

1 「確かな学力」について(保護者)

評価項目		評価結果(人)					評価の 平均値	肯定的回答		
		4	3	2	1	計		6月		
確かな 学力	1	お子さんは、目標を持って学習したり生活したりしていますか	74	145	99	30	348	2.76	63%	
	2	お子さんは、調べたいことやわからないことを自分から調べるなど色々なことに興味を持って学習に取り組んでいますか	60	146	108	34	348	2.67	59%	
	3	お子さんは、日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか。	36	58	127	127	348	2.01	27%	
	4	お子さんは、毎日の学習でタブレットを活用していますか。	32	74	149	92	347	2.13	31%	
	5	学校は、個に応じたていねいな学習指導を行っていますか	44	181	109	13	347	2.74	65%	

No.	内容	A:「好ましく感じていて継続してほしい点」・B:「物足りなく感じていて検討してほしい点」
1	学び	<p>A:家庭科授業の幼稚園での園児との触れ合い B:学び塾のように通常の授業以外で学習できる機会を増やしてほしい。希望制でもいいので、成績の悪い生徒には補習をしてほしい。 B:宿題が少ない。普段から課題を出して常に机に向かうような指導してほしい。 B:オープンスクールを参観して。学習問題もなく、何をめあてとした学習なのか全くわからないクラスが多かったです。また、残念な板書に正直驚きました。子供達の学力向上のためには、まず五中の先生方の授業力を上げることが大切なのは、と思います。 B:体験活動や受験に関する話しを積極的にしてほしいです。 B:5~7年前の五中は、生徒に寄り添って勉強を教えてくれると感じた。たとえば授業終わりにここがわからないと言えばすぐ見てくれたり、放課後じっくり教えてくれたりしたが、今はまなび以外放課後教えてくれるという感じがまったくない。4、5年前くらいに校長がかわり、放課後は、教えられないと言われたそうだ。子供は驚いていた。このアンケートで訴えたがだめだった。</p>

行事	<p>B: 修学旅行先について数年前から、関西方面だった行き先が長野方面に変わったと聞いたのですが、長野はバスの校外学習でも機会を作れるのではないのでしょうか？ せっかく社会科の歴史の授業で平安京の歴史を沢山学んでいるので、その集大成として子どもたちには先生やお友達と本物を見て一生の思い出を作って欲しいと思います。移動手段の新幹線も修学旅行でしか乗らない子もいると思いますので、ご検討頂ければと思います。</p>
----	---

< 現状の分析及び学校運営の方向性 >

【全体分析】

- 生徒の評価結果では、「1 目標を持って学習する」「2 色々なことに興味を持って学習する」「5 個人に応じたていねいな学習指導を受けている」に関する評価の平均値が比較的高い数値を示しており、生徒が主体的に学びに向かう力を今後さらに伸ばす手掛かりになると考えます。
- 「1-3読書に親しむ、図書資料を使って調べる」の評価の平均値が、比較的低い数値を示しています。生徒の言語能力を育成するとともに、情緒面の伸長など、読書から得るものは多大であることから、学校図書館経営と生徒会活動を核として、読書に親しむことにつながる啓発活動を工夫してまいります。また、調べ学習の手立てとしては、図書資料から GIGA タブレットによる検索に移行が進んでいます。

【部分説明】

- 教員の授業力向上を図るため、毎年度、教育委員会指導主事等や外部講師が入る学習指導案検討および授業実践研修に加え、生徒による授業アンケートを各教科で実施し、教科担任が、自身の授業改善に役立てています。また、ICT(Information Communication Technology)の有効活用を推進するなど、新学習指導要領が目指す「主体的・対話的・深い学び」のより一層の具現化により、生徒の「確かな学力」を育ててまいります。
- 補習の機会として放課後、まなびサポーターが個別指導する「まなびくらぶ」を開設し、希望する生徒が利用しており、今後も登録・利用が可能です。また復習機会として、単元の変わり目や定期試験前に、「授業時間内に、復習および個別の質問に応じる時間をとる」「放課後の学習相談日を設定する」など、教科・学年それぞれで取り組んでおります。
- 学習活動の観点別評価・評定について、各教科で設定した評価基準により行うとともに、教科特性に応じて通常授業および定期試験の前後などに繰り返し説明・指導しています。詳しくは、「5月23日発行:学校だよりNo.3」でお知らせしています。(五中HP「各種たより」で閲覧可能)
- 修学旅行先について、近年のオーバーツーリズムによる、京都・奈良エリアの混雑を避けるとともに歴史文化体験に加え、アウトドアスポーツ体験、民泊(ペンション)体験等をセットで実施可能な地域(長野県、富山県、石川県等)への変更が、市内中学校をはじめ、他の地域でも増えています。

< 学校運営協議会の意見 >

○保護者からみて生徒の学習状況は、三者面談の説明でよく理解できる。○「宿題が少ない。宿題が増えれば我が子の学力が上がる」という思いの家庭もある。宿題があると家庭で学習する子の姿が見えやすく、親は勉強を見てやれる。○「宿題が増えれば学力が上がる」ということに疑問を感じる。また、タブレット・オンラインで課題を提出する教科もあり、年齢が上がるにつれて家庭で学習する子の姿は見えにくくなる。○家庭で子どものために協力したいときに何ができるか。協力の仕方の答えは、見つけにくく正解はない。○学力向上に読書活動が有効であり、家庭で読書に親しむ機会を増やすことも考えたい。○文科省が求めている『学力』を理解することも重要であり、『学びに向かう力・人間性』『4つのC』:①コミュニケーション、②コラボレーション、③クリエイティビティ、④クリティカルシンキング(批判的思考)など、将来必要とされる能力は、「試験に勝つ力」「どれだけ点数をとれるか」とは一致しない部分がある。○これからの社会で求められる能力と、学校の学習の関係について、親の関わり方など、家庭教育学級や学校だより等で説明し、家庭の理解を深める方法もある。

2 「豊かな心」について(生徒)

評価項目		評価結果(人)					評価の 平均値	肯定的回答		
		4	3	2	1	計		6月		
豊かな心	1	友だちの良いところを見つけることができますか	238	116	17	2	373	3.58	95%	
	2	困ったことがあった時に相談できる先生がいますか	149	129	54	39	371	3.05	75%	
	3	学校の活動では、体験(見る、聞く、触れる)や交流が取り入れられていると思いますか	163	143	50	15	371	3.22	82%	
	4	自分には、良いところがあると感じるがありますか	75	176	102	32	385	2.76	65%	

2 「豊かな心」について(保護者)

評価項目		評価結果(人)					評価の 平均値	肯定的回答		
		4	3	2	1	計		6月		
豊かな心	1	お子さんは、友だちと「お互いの良さを認め合う」ような関係づくりができていますか	118	201	24	4	347	3.25	92%	
	2	学校には、一人一人のニーズに対応したきめ細やかな支援体制が整っていると思いますか	46	189	96	16	347	2.76	68%	
	3	学校は、体験活動を取り入れていると思いますか	55	193	91	8	347	2.85	71%	
	4	お子さんは、自己肯定感(自分には良いところがあると感じる)が高まる経験をしていますか	88	196	51	11	346	3.04	82%	

No.	内容	A:「好ましく感じていて継続してほしい点」・B:「物足りなく感じていて検討してほしい点」
2	教育相談	A:先日のオープンスクールで感じた事です。小学校の先生とは全然違う雰囲気が良い。若い男の先生方が子供達にフレンドリーに話しかけている場面をよく見る。子供達が心配事などがあっても先生に相談しやすい環境になってくれそうで期待しています。A:昨年度までに比べてひとりひとりの生徒をしっかりとみてるようになったと思います。このまま継続することを願います。
	生徒指導	A:先生と子どもたちの距離が近いと感じます。信頼関係は、今後とても大切。B:朝のオアシス運動
	行事	A:行事等生徒主体に考えて行動、活動するようになってきていると思います。A:運動会は先生生徒と一緒にあって、楽しんでいた雰囲気が伝わりました。A:体育祭ではクラスカラーのTシャツが子どもたちをより輝かせていました。来年も楽しみにしています。A:運動会やオープンスクールで、子供たちがとても楽しそうに暮らしているように感じました。学校運営ご苦労様です。B:城山祭について 以前は市川市文化会館で開催されていたと聞きました。市川市文化会館はNコンの千葉県大会でも使用される音楽ホールなので、体育館とは響きも異なります。学年によってはコロナの影響で6年生の時に市川市文化会館の音楽会に参加出来なかった子もいます。子どもたちには学校生活の中でより多くの貴重な体験と感動の場を頂けたらと思います。今後も五中が子どもたちにとって安全かつ様々な体験と発見と感動を通した学びの場であることを願っています。よろしくお願ひいたします。B:文化、芸術方面での体験や発表の機会が少ないと思います。文化祭、学習発表会的なものがないのは市川市内全体の決まり?なののでしょうか。運動のあまり得意ではない子にはつまらないだろうなと思っています。
	部活	A:部活動が活発で、目標を持って練習に取り組んでいる

<現状の分析及び学校運営の方向性>

【全体分析】

■生徒および保護者の評価結果で全項目が、「評価の平均値」より高い水準であり、とくに生徒の評価結果では、項目1, 2, 3で「そう思う」の割合が高く「評価の平均値」を押し上げています。生徒会活動をはじめ、実行委員会活動、学級活動、部活動等により、生徒の主体性を伸ばすとともに自己肯定感を高めることで、豊かな心を育む学校体制の成果ととらえています。加えて、家庭・地域のご理解ご支援の賜物と感謝申し上げます。また、生徒指導上とくに心配な点が、SNS 関連のトラブルです。学校・家庭・関係機関が連携・連動してトラブル予防を図る必要性を強く感じております。今後も道徳教育および日常の生徒指導並びに教育相談活動と合わせ、生徒の「豊かな心」の育成を、より一層推進してまいります。

【部分説明】

■あいさつ・言葉遣いをはじめ望ましいコミュニケーションスキルの育成に取り組んでいます。一例をあげると、登校時間帯に校門、生徒昇降口に教職員が立って生徒とあいさつを交わし、積極的な声かけをするなかで、一日が始まるのが日常となっております。

■不登校傾向の生徒や配慮が必要な生徒について、校内で毎週開催する「教育相談部会」に管理職・カウンセラー・養護教諭・学年担当者・特別支援教育コーディネーターが参加し、状況を把握するとともに適切な支援方法について協議しております。

■相談・支援体制について、毎学期、教育相談週間を設定し、個別面談を実施するなど生徒個々の悩みや不安に寄り添うための取り組みを継続しております。なお、ライフカウンセラー、スクールカウンセラー、養護教諭をはじめ、お子様に関わる教職員で保護者・生徒からの相談を随時受け付けています。心身の不調・健康面などで配慮が必要なことについては保護者・生徒から個々に状況を伺い、適切な対応をとるようにしておりますので、遠慮なくご相談ください。

■体験・発表機会の主なものとして、運動関連では、体育祭、修学旅行のアウトドア体験、さわやかスポーツフェスタ(若草学級)があり、文化・芸術面では、城山祭(合唱コンクール)、英語スピーチコンテスト、合同学習発表会・卒業生を送る会(若草学級)に加え、各方面からの作文、ポスター募集への応募等があります。その他の機会として、地域行事に参加するボランティア体験、宿泊実習(若草学級)、総合的な学習の時間や各教科の学習成果発表(プレゼン)など、多岐に渡ります。

< 学校運営協議会の意見 >

○五中生に豊かな心が育っている例として、体育祭での活動の様子や、来校者にあいさつする生徒が多いことがある。○評価結果から、五中生が友だちと良い関係をつくり、自己肯定感が高まる活動をしていると感じる。あいさつの習慣をはじめ、豊かな心を伸ばす教育活動を五中の強みとしてほしい。

3 「健やかな体」について(生徒)

評価項目		評価結果 (人)					評価の平均値	肯定的回答	
		4	3	2	1	計		6月	
健やかな体	1	199	67	45	59	370	3.10	72%	
	2	190	116	42	21	369	3.29	83%	

3 「健やかな体」について(保護者)

評価項目		評価結果 (人)					評価の平均値	肯定的回答	
		4	3	2	1	計		6月	
健やかな体	1	170	74	61	41	346	3.08	71%	
	2	123	157	58	9	347	3.14	81%	

No.	内容	A:「好ましく感じていて継続してほしい点」・B:「物足りなく感じていて検討してほしい点」
3	健康安全	A:給食の美味しさはこのまま継続してもらいたい B:体を動かしてほしいです

<現状の分析及び学校運営の方向性>

【全体分析】

■生徒の健康増進と体力向上について、「評価の平均値」で生徒および保護者の評価結果で、比較的高い値が見られます。「1運動やスポーツに親しむ」について、学校での主な運動機会は、「体育授業」「運動部活動」ですが、それらに加えて「昼休みの外遊び」を奨励しています。「2望ましい食習慣」を育てるについて、令和5年度から給食時間を5分延長し、食と向き合う時間の充実を図っています。また、生徒会活動では、保健給食委員会が、健康的な生活習慣の定着を目指して「生活習慣チェック」「アウトメディアデー」「給食配膳チャレンジ」等の実践で調査・啓発活動を行っています。

【部分説明】

■市川市の給食の状況ですが、学校栄養士が作成した献立および調理計画により、市が委託した専門業者の調理スタッフが調理・提供しています。食の安全性が最優先となりますが、栄養価の基準に留意するとともに、食育の観点から、献立表にあるように様々な食文化と味覚に触れられるように豊富な食材を使用し、手作りを基本に出汁も素材からとるなどの手間をかけています。また、五中は調理施設が校内に設置されており、午前中からおいしそうな匂いが校舎内に漂ったり、出来立ての料理が提供されたりという学校給食の醍醐味が味わえる点は恵まれていると捉えています。(市内中学校の半数は、近隣の小学校からトラックコンテナで運ばれる親子方式の提供となっています)

< 学校運営協議会の意見 >

○自校に給食調理施設があり、恵まれている。 ○給食がおいしいことを家庭で親に自慢する子がいる。 ○給食を通して食育面をさらに伸ばしていただきたい。 ○コロナ期間は、運動に親しむ機会が少なかった。運動時もマスクを着ける習慣が抜けない子もいる。 ○運動機会を増やしたり、生徒のモチベーションを高めたりするしかけを工夫したい。

4 「家庭・学校・地域の連携」について(生徒)

評価項目			評価結果(人)					評価の平均値	肯定的回答	
			4	3	2	1	計		6月	
関係者連携	1	学校の活動で、地域の方たちと共に学ぶ機会がありますか。	49	84	147	91	371	2.25	36%	

4 「家庭・学校・地域の連携」について(保護者)

評価項目			評価結果(人)					評価の平均値	肯定的回答	
			4	3	2	1	計		6月	
関係者連携	1	学校は、保護者や地域の方々と共に、子どもを育てる取組を進めていると思えますか	58	213	67	8	346	2.93	78%	

No.	内容	A:「好ましく感じていて継続してほしい点」・B:「物足りなく感じていて検討してほしい点」
4	情報発信・情報共有	A:年間行事表に三者面談の予定が載っているのは、事前に仕事の時間調整ができてとても助かりました。 A:4月以降、五中ブログの情報発信が劇的に増えた事により、子ども達や学校の様子を知ることができています。学校を身近に感じられるようになり、また、子どもとの会話も増えました。(1)情報発信ありがとうございます! A:ブログを毎日楽しく見えています。学校の魅力発信とブランドアップの効果が大きいと感じます A:五中ブログを家族で楽しみに拝見しています それぞれの記事に『いいね!』が増えて、子ども達の自己肯定感向上につながるよう、今後も宜しくお願いします A:校長先生のブログをよく拝見しています。生徒たちの日常の様子を知ることができて嬉しいです。無理のない範囲で継続していただけたら嬉しいです。 A:今年度から学校ブログが毎日更新されるようになり、子どもたちの活動、給食の画像や味付けまでとても詳しく掲載されていて有り難いです。これからも楽しみにしています。 A:校長先生のブログ、楽しく拝見しております。特に給食は画像があるとどういう料理なのかわかりやすいです。これからも学校生活や部活動を頑張っている姿を発信していただきたいです。 A:学校ブログ、今日の給食コーナーは、給食のクオリティの高さが伝わります 我が家の献立の参考になり、ぜひ継続してほしい A:校長先生が更新してくれるブログが、子ども達の学校での様子や部活の様子が変わり、とてもありがたいです。(同3件) B:学校からの配布物をリュックや机に貯めているようで、手元に届かないことが多々あります。メールにデータを添付するなど紙の配布以外の方法があると見落としがなく大変助かります。 B:学年だよりやプールカードなどもオンライン化してもらえるとより利便性が高まると思います。ぜひ検討願います。
	行事	A:オープンスクールは子供の様子がゆっくり見れて良かったので、継続して欲しいです。 A:体育祭は、子ども達がそれぞれ楽しんでいる様子がとても良かったです。オープンスクールも一日開放されていたので、都合の良い時間に見に行けたのが良かったです。 A:城山祭が素晴らしいです。出来ることならばDVDを作っていただけますと幸いです。高齢の家族にも見せてあげたいです。 B:体育祭や城山祭、どうしても仕事が休めずに観に行けない時があり残念だった。DVD販売があると嬉しいです。
	その他	A:PTAの役員の仕事がボランティアになり、助かります。(同2件) A:花壇に季節の花を咲かせているのはありがたいです。地域の方ありがとうございます B:他学区に比べ五中は範囲が広く通学時間が長いので危険な通学路が多いので改善するよう要望して欲しいです。参観や面談時にグラウンド側に臨時でも駐輪場を作って欲しいです。車で来校禁止ですが近隣にパーキングもなく、正門側に回るのにも遠くて大変です。 B:①校舎の安全面、老朽化している設備を見直して欲しいです。体育祭の時に校舎からグラウンドに向かう途中の階段に手すりがないのが気になりました。旧校舎のトイレが和式でした。学校は公共施設の為、時代に合わせ利用しやすい設備に改善して頂けたらと思います。 B:上の選択肢にわからないを追加していただきたいです。目に見えてないことはよくわかりません。 B:まだよく分からない

< 現状の分析及び学校運営の方向性 >

【全体分析】

■家庭・学校・地域の連携について、生徒の評価が平均値を下回り、保護者の評価が平均値を上回る結果となりました。市内公立学校すべてが『コミュニティ・スクール』であり、学校運営協議会を設置し、「地域に開かれた学校」として、地域教育力の活用を目的のひとつとしています。本校の活用事例として、「地域の方が、『まなびサポーター』として補修・個別指導を行っている」「体育の水泳授業で地元サーファーをゲストティーチャーに招き、体験授業を実施」「PTAのOBを主体とした地域住民の方々や花壇整備や側溝整備を継続」「市内の森を守る団体の方々が、五中敷地内『城山の森』を毎月整備に訪れ、枯れた木を伐採し、倒木の危険を回避する」などの活動を長年にわたり継続していただいています。

■PTA組織の変容が進んでおり、各学級から役員を募る方法を見直し、イベントごとに保護者ボランティアを募集して駐輪場係等、必要業務をお願いするなど、持続可能なPTA活動を推進しています。

【部分説明】

■今年度、「子ども達の笑顔を増やす」「五中ブランド力を向上させる」の二つを学校経営の柱とし、その一環としてホームページ等による情報発信を推進しています。五中生が、日々の授業・生活・行事・部活に取り組む様子から「できた」「わかった」「ステキ」「いいね！」の大小多彩な感動体験が伝わります。本年4月4日、五中ホームページにアクセスカウンターを付けたところ、9月25日時点のアクセス数は、100,000件を超え、一日平均アクセス数は、4月:475/日、5月:610/日、6月:537/日、7月:708/日、9月:734/日の状況で、2,800を超える日もありました。生徒数578名の学校ホームページとしては、多くの方々に閲覧していただいていると認識しています。五中ブログでは、「学校の魅力発信」をテーマに生徒活動やお役立ち情報等をアップしております。修学旅行、体育祭等、学校行事や部活動の大会速報等の『いいね！』カウンターの状況から、興味・関心の高さが伺えます。『いいね！』については、生徒の承認欲求を満ちし、自己肯定感の向上につなげるとともに「五中ブランド力の向上」をねらっています。引き続き、日々のブログチェックと『いいね！』カウントアップに、ご協力願います。(『いいね！』ボタンのクリックで個人情報が出れることはありません)

■学校業務デジタル化推進に取り組む事例として、①欠席連絡をメール受信で行う。②学校だより、学年だよりをホームページにアップロードして閲覧可能とする。③アンケートをネット回答で行う。④行政機関、教育委員会からの広報依頼を五中ブログに掲載する。等の取り組みが定着しています。

■本アンケート回答の選択肢に「わからない」を加えることについて、問い合わせがあったことを市教育委員会に報告いたします。また、回答に迷う設問については、回答を選ばず「無回答」のままで送信することも可能です。

■通学経路の安全性向上について、令和4年度に本校学校運営協議会と市川大野高等学園学校運営協議会が連携し、市川大野駅から五中グラウンド脇を通り、市川大野高等学園に至る道路の危険個所の路側帯整備およびカーブミラー設置を市川市に要望し、道路環境が改善された事例があります。また、令和7年度から導入する制服ジャケットのベント部分と袖に、夜間に車や自転車のライトを反射して視認性を高める加工を採用いたしました。引き続き、登下校時の交通安全について、生徒に指導するとともに、可能性を探ってまいります。

■校舎施設設備について、修繕・改良が必要な箇所がないか、定期的に点検しています。改善箇所については、市に要望し、認められた案件について修繕・工事が行われます。近年では、学校施設バリアフリー化が推進され、体育館玄関スロープ・手すり、校舎渡り廊下ピロティ部分スロープ・手すりが設置されました。また、今年度は、体育館トイレの改修工事・校舎B、C棟4階1学年教室およびA棟4階少人数教室のエアコン入れ替え工事を行うとともに、校舎A棟の雨漏り改善のための屋上・壁面の防水工事を7月から12月の予定で実施中です。また、ご指摘のあったグラウンドに降りる経路にある階段の安全性向上について検討してまいります。

< 学校運営協議会の意見 >

○五中生が、きちんとあいさつできるのは家庭教育の影響も大きい。○ボランティアで他校生と関わる機会が多く、比較すると五中生の大人しく素直な面を実感する。○まなびくらぶ参加生徒は、問題の解き方を教わるにとどまらず、勉強の仕方を積極的に聞きにくる。○家庭・学校・地域連携のために、ブログや学校だよりによる積極的な情報発信が有効である。保護者コメントでも多くの好評価が寄せられており、一層の充実を期待したい。○今後も、地域に向けて心を開く五中生であってほしい。

アンケートのご協力ありがとうございました。引き続き、

『子ども達の笑顔: 🍌わかった! 🍌そうか! 🍌いいね! 🍌すてき! 🍌やった!』

を増やすとともに、『五中ブランド力向上』につながる学校教育活動を推進してまいります。